

意見聴取（パブリックコメント）平成18年1月6日メールでのご意見

第3期介護保険事業計画について

計画の概要と基本的方向

まず大きく見て一人一人の自立と一人一人の知識、意識の改革ではないでしょうか。今までのことは今までとして、今までに見たことも聞いたこともないような新しい物に目を向け耳を向け理解し自分自身に取り入れていくことではないでしょうか。それを市や国が国民に向けていくことだと私は思います。

高齢者を取り巻く現状と将来推計

今核家族化、核家族化どころか孤独化していると思います。確かにお年寄りの一人暮らしが年々多くなっているように思います。ではその原因は何処にあるのか？今までは結婚しても親は絶対、目上は絶対のような傾向がありましたが、今は核家族化で一人一人のライフスタイルが昔とは違っています。なのに今のお年寄りは自分の意見だけを通そうとする独裁者の老人が増えているようにも思います。だから若者が離れる原因となり老後の困難に陥るといった傾向ではないでしょうか。時代は変化しています。その中でお年寄りは取り残されていくことに不安を抱えていると思います。これからは高齢者の方にこれから先に変化していく時代を見越した知識、意識の改革をさりげなくしていけるような環境作りが大事だと思います。高齢者の頭の改革と共に、若者にも高齢者を受け入れ出来るような環境作りが大事だと思います。

高齢化保険福祉介護サービスの現状

介護サービスについて私はものすごく矛盾を感じております。私が耳にしたことは足が不自由な方と元気でお金があるのに病院マニアのお年寄りの方との介護基準判定の違いです。それは足が不自由な方のほうが判定で介護サービス利用出来る事が少ないという事に矛盾を感じております。私から見るとお金持ちの方を優先しているように見えました。本来介護サービスというものは市民全体が平等でお金や物に捕われないしっかり確実な判断が求められるのではないのでしょうか。他にも色々ありますが、今の介護保険は営業的な物の見方だけになっているように思えます。そういったところも改善していかなければ、本当の介護自立支援とは言えないのではないのでしょうか？これからはそういったところを前向きに改善していただきたいと思います。だってよく考えてみてください、今の現状を自分の老後に置き換えた時皆さんは今の現状のままだとどう思われますか？全て自分に置き換えて考えて行くことも大切だと思います。全ての人と同じ道を通るので、人事でなく自分事としてとらえて、より良い環境にしていっていただきたいと思います。それと本来介護の目的である自立支援から少しずつずれていっているようにも思います。

今後の保健、福祉、介護、サービスの施策

これからは元々今までに無い画期的な新しいことを取り入れ検討していくことが大切だと思います。それは予防医学だと私は思います。今素晴らしい半導体治療法もあります。西洋医学には無い目覚ましい程のものがあります。なので市民に目を向ける前にもっともっと社会に貢献されている方々が勉強していただきそんな物は無いと否定的に見るのではなくもっと信じて心を開いてもっと広い目で見て聞いて身をもって体験して意識、知識の改革をしていっていただきたいと思います。そうする事が沢山の解決策を生み出して行くのではないのでしょうか？このままだと先には何も生まれていかないし現状維持すら出来ていかないと思います。もっと社会のリーダー核の方々の素晴らしい向上を願っております。介護保険事業サービスの見込みは超高齢化に入ってきていますので先の事業的には良いかと思いますが、どんどん高齢者が増えていく中このままではサービスを充実化していくことは困難になっていくのではないのでしょうか？それを防ぐにはもっともっと国民に向けて自立健康対策を介護の中にしっかりカリキュラムとして取り組んで行くことが事業の繁栄に繋がり市民の皆さんの充実した生活にも繋がると思います。これからどんどん新しい事に取り組んでいっていただきたいと心より願います。

意見聴取（パブリックコメント）に寄せられた意見

（平成 17 年 12 月 7 日から平成 18 年 1 月 6 日）

意見の内容

一人ひとりの意識改革により、新しい物を自分自身のために取り入れていくような事業を市や国が実施していくことではないか。

市の考え方

「明るく活力ある超高齢社会」を目指し地域支援事業（介護予防事業、包括的支援事業及び任意事業）と新予防給付（要介護状態の軽減や悪化防止による介護予防）及び地域密着型サービス（保険者が事業者の指定権限を持ち、本市の被保険者のみが利用できるサービス）が創設されます。

意見の内容

高齢者の意識改革と、若者にも高齢者を受け入れることが出来るような環境作りが大事ではないか。

市の考え方

高齢者の様々な生きがいがづくりが地域活動に結びついていくよう、文化、学習、スポーツ活動、世代間交流やボランティア活動等を支援するとともに、保健福祉、教育、文化等の幅広い分野で活躍できる人材の養成を積極的に推進していきます。

意見の内容

今の介護保険サービスは、営業的で、本来の自立支援となっていないと思われるので、改善していただきたい。

市の考え方

介護サービスの質の向上を図るとともに、介護予防・自立支援の観点から利用者のニーズや状況にあわせたケアプランの作成や在宅生活が継続できる介護サービスの提供がされるよう、指導・助言してまいります。

意見の内容

自立健康対策を保健・福祉・介護サービスの中でしっかりとカリキュラムとして取り組んでいただきたい。

市の考え方

要支援・要介護状態とならないよう介護予防を目指し、地域包括支援センターが中心的な役割を担い、制度や事業の一貫性や連続性を考慮した地域支援事業の取り組みを進めてまいります。

意見聴取（パブリックコメント）平成18年1月6日 FAX でのご意見

介護保険事業計画について

介護保険制度は行政に認定された人が事業者と契約をしてサービスを受ける事になっているが、事業者は多数いて利用者は選べる事になっているが、その中味（内容）が今情報化時代で大量に情報が流れているが私の知るところでは、各事業者が自分のところのサービス内容を開示しているのを見聞した事もほとんどない。

この点の情報公開をしてもらいたい。

行政も情報をもっと市民に知らしてもらいたいと云うのは、今年から1号保険料が大幅な値上りするとの事であるが、なぜ大幅に上がるのか理由を知りたい市民もたくさんいると思う。

役所は情報公開を条例化しているが、この度の値上りでも市民に納得できる説明責任を果たした上で結果を出すならば良いが、この点も不安である。

40才以上の人達が支えあって特に65才以上の人達は保険料アップと自己負担もアップしている今日支えきれなくなる人達をどの様に介護していくのか、その中で地域包括支援センターは、どのように機能してくれるのかとの不安がいっぱいだが、介護保険制度はつぶれたら困るので気になることを書いてみました。

意見聴取（パブリックコメント）に寄せられた意見
（平成 17 年 12 月 7 日から平成 18 年 1 月 6 日）

意見の内容

各事業所が自分のところのサービス内容を開示してもらいたい。

市の考え方

インターネットの「ワムネット」及び岸和田市介護サービス事業者情報検索システムで事業者に関する情報を公開しています。また、平成 18 年度から介護サービス事業者に対して介護サービス情報の公表を義務付けるため、国において、政令及び省令を整備するとともに、大阪府が条例の制定など円滑な制度の施行に向けて準備を進めています。

意見の内容

保険料が、なぜ大幅に上がるのか納得できる説明責任がある。

市の考え方

平成 17 年 11 月 21 日開催の岸和田市介護保険事業等運営協議会会議録中に、現段階の保険料の考え方についての説明をホームページに掲載しています。今後も保険料の考え方を掲載させていただきますとともに、出来る限り周知に努めてまいります。また、保険料の算出方法を事業計画に掲載していくこととしています。

意見の内容

今日支えきれなくなる人達をどのように介護していくのか、その中で地域包括支援センターは、どのように機能するのか。

市の考え方

高齢者が、住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続できるように、介護保険外のサービスを含む、高齢者や家族に対する総合的な相談支援を包括的に行う中核機関として、地域包括支援センターを設置するものです。